

第 95 回大腸癌研究会 広報委員会

議事録

開催日： 2021 年 7 月 1 日 (木) 14:00～14:30 (Zoom 開催)

出席者： 植竹宏之 (委員長/国立病院機構災害医療センター)、石黒めぐみ (東京医科歯科大学)、島田能史 (新潟大学)、問山裕二 (三重大学)、濱口哲弥 (埼玉医科大学国際医療センター)、深澤智美 (防衛医科大学)、森脇俊和 (筑波大学)

欠席者： 岡 志郎 (広島大学) (敬称略、五十音順)

1. 報告事項

1) 2021.1.30～2.28

会長の依頼により、「第 94 回大腸癌研究会」ハイブリッド開催に関する Web アンケートを実施した。

2) 2021.2.15

「十二指腸癌診療ガイドライン (案)」のパブリックコメント募集のお知らせをホームページに掲載した (十二指腸癌診療ガイドライン作成委員会 (愛知がん・室圭先生) からの依頼)。

3) 2021.3.09

「腹膜播種診療ガイドライン (案)」のパブリックコメント募集のお知らせをホームページに掲載した (日本腹膜播種研究会 腹膜播種診療ガイドライン作成委員会 (自治医大・北山丈二先生) からの依頼)。

4) 2021.3.11

「小腸癌取扱い規約作成委員会」の発足に伴い、「活動中の委員会」のページに当該委員会を追加した。研究会 HP トップページ、バナー下の記事も併せて変更した。

5) 2021.3.11

「遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2020 年版」を研究会編集図書ページに掲載した。

6) 2021.6 月末

「アクセスレポート (2021 年 1 月～2021 年 5 月)」を掲載した。

2. 作業中の事項に関する報告・検討事項

1) 「遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2020 年版」本文の HP 掲載について

✓ 金原出版の許諾の下、2021 年 2 月末～HP 業者にて作業中である。

2) 研究会の抄録集の電子版掲載について

- ✓ 第 58 回以降の抄録集は研究会 HP「過去の研究会主題一覧」ページに PDF 掲載済み。
- ✓ 第 57 回 (2002 年 7 月) 以前については、PDF の軽量化作業中であり、完了次第順次掲載していく。

3) 「大腸癌取扱い規約」旧版のホームページ掲載

- ✓ 第 1 版～第 8 版、英語版の旧版の PDF データを金原出版より入手済みである。
- ✓ 左側メニューバーに新たに「大腸癌取扱い規約」の項を作成し、その中に掲載する方向で、HP 業者と相談済みであり、引き続き掲載準備作業を進める。

4) 『関連論文』の掲載について【検討事項】

- ✓ ①『研究の成果 (仮)』として独立したコンテンツにして左側にバナーを出す、②プロジェクト・委員会ごとに掲載、③併せて<優秀論文賞の一覧>も掲載、の方向で掲載形式について HP 業者と相談済みである。
- ✓ 本年 2~5 月の間に現在 HP に掲載されている論文のリスト化を行った (英文 124 編、和文 60 編 (重複掲載もあった))。

⇒今後、各委員 20 編を割り振り、URL の確認、どの委員会・プロジェクト研究の成果かの分類を行うこととした。

⇒その後、当該委員会等の関係者の個別に連絡し、不足分等の確認をした上で掲載へ。

5) 研究会参加施設一覧のアップデート

- ✓ アップデートが滞っているため、年 2 回の研究会開催後に (研究会の際の世話人会等で新入会・退会が了承されるため)、研究会事務局の方でルーチンにアップデート作業を HP 業者に指示して行うよう、研究会事務局に申し入れることとする。

6) 研究会役職者リストの HP 公開

- ✓ 前回委員会 (メール審議) にて、幹事、世話人等のリストの公表について意見があったことを受け、杉原会長に相談。方向性について了解を得た。

⇒本日の幹事会で了承を得た。掲載に向け、作業を進める。

7) アクセスレポートについて

- ✓ 今回から、IE のバージョン別訪問数などは削除し、コンテンツ別のアクセス数などに内容が一部変更された。
- ✓ データの提示の仕方が attractive ではない等、改善の余地あり。
- ✓ 特定のコンテンツのビュー数をモニタリングすることも可能だが、現時点で必要性はそこまでなく、データの提示の仕方の改善を先に行った方がよい。

⇒HP 業者とレイアウト変更等の可否について相談の上、(案)を作成し、改めて委員会

にて検討することとする。

6) その他

- ✓ 「研究会の開催情報」に、次々回の研究会開催情報を追加掲載する件について、前回対応してもらったのに、また無くなっている。
⇒研究会事務局に再度申し入れることとする。
- ✓ 「リンク集」(会員・ドクター向け／市民の皆様向け) のアップデートについて
⇒議事録案の確認と併せ、各委員にて検討し、意見を集約する。

- ✓ 「大腸癌研究会の委員会・プロジェクト研究における研究成果ではないが、関連領域の重要な論文や研究成果が公表された場合に、広報委員会を通じて大腸癌研究会 HP で周知することは可能か？」との質問を受けた (問山委員)。
→大腸癌研究会と関連のない研究成果について、研究会 HP 内で周知する／「関連論文」ページに掲載することはなじまない。次期ガイドラインの改訂時に掲載されるような内容について、速報として周知する目的であれば (現在のガイドライン速報版ページのような形で)、そのような内容を掲載するページを設けることは、一案として考えられる。あるいは、当該委員会から継続的に、教育的な情報発信をしたいとの要望があれば、委員会ページ内での情報発信を検討してもらうか、専用のページを新たに設けることも一案ではあるが、COI 等、事前に検討すべき点があることに留意は必要と思われる。

- ✓ 委員会・プロジェクト研究で公表された論文について、研究会事務局への報告が漏れていることも多々あるため、学会発表も含め「業績集」のようなものの作成を課してはどうか? (植竹委員長)
→ (広報委員会の業務の範疇ではないと思われるが) 各委員会・プロジェクト研究に、業績を含む「年次報告書」の提出を課すのは一案かもしれない。その中から論文業績を抽出し、HP に反映することも可能と思われる。
⇒「関連論文」ページの整理と合わせて、論文掲載情報の収集方法について、改善を引き続き検討する。

以上